

令和5年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」(実績報告)

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
三次市	②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	地域の文化や伝統等の学習や、地域の活動等への参加などが、学校の授業や活動に取り入れられてきているが、教職員の授業への準備や講師の手配、地域活動の準備や地域との打ち合わせにかかる業務が教職員の負担となっている。	市内コミュニティ・スクール設置学校区ごとに、地域学校協働活動推進員を配置する。(令和4年度未までに、3学校区に3名を配置。) 地域を生かした授業や活動への講師の手配や打合せなどで、地域学校協働活動推進員が地域住民と学校との情報共有・連携を図る。	地域による、文化や伝統、地域活動等への参加により、教職員の負担の軽減につながる。	時間外在校等の時間が月45時間未満の教職員の割合。	78.9	%	80	83.90%	時間外在校等の時間が月45時間未満の教職員の割合が増加している。今後も地域による地域活動への参加により、教職員の負担軽減につなげていく。	https://www.city.miyoshihiroshima.jp/soshiki/36/20323.html